

10月26日(木)

「怒り」と上手く付き合うってどういうこと？

絵本「かいじゅうポポリはこうやっていかりをのりきった」

(監修: 岡田 俊 著者: 新井 洋行)

こころ組のとある子の保護者の方から、
「この本を家で読んでいます」と
教えていただいたこの絵本 □

主人公は、おこりんぼのかいじゅうポポリ。

ある日、友達と大喧嘩をしてしまい、あばれていると
怒りのマスターかいじゅうプワイズが現れ、
自分の気持ちと向き合い、爆発せずに
上手に怒りとつきあう方法を教えてくれる といった内容です

どんな時に嫌な気持ちになる？
ムカムカしたらどうしたらいいのかな？
こどもたちにもわかりやすい言葉で紹介してくれています



こどもたちと
じっくり読んでみました



ポポリはどんなときに
ムカムカするのかな？



じまんされたとき

ずるされたとき

ねむいとき

おなかがすいてるとき

いかりのきもちが
ばくはつしそうなときは
いまからいどれかを
やってみるといいよ



まず1つめはね...

この絵本からこどもたちに伝えたいことは
怒りの気持ちを抱く=悪い
ということではないということ。

「嫌だな」「ムカムカ」そんな気持ちは
生きていたら誰もが感じる気持ちだから。

大切なことは、「怒り」を感じたときに
その気持ちをどう爆発させないようにするか、
怒りと上手く付き合っていくことだと思います。

でも、それって大人でも難しいことですよ。
だからこそ、こどもたちには
「こういうときはどうしたらいいんだろう？」と
一緒に考えられる機会を
何度も作っていきたいと思います 🍀